



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月15日

上場会社名 株式会社アーkun 上場取引所 東
 コード番号 3927 URL http://www.ahkun.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)蛭間 久季
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)佐藤 敏和 (TEL)03(5825)9340
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	821	—	142	—	142	—	79	—
27年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	46 82	42 42
27年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成27年3月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第2四半期の数値及び平成28年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については、記載していません。
2. 当社は、平成27年9月30日開催の取締役会決議に基づき、平成27年10月30日付けで普通株式1株につき普通株式200株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に該当株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 当社は、平成27年12月18日に東京証券取引所マザーズに上場しているため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は新規上場日から当第3四半期会計期間末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,349	737	54.6
27年3月期	859	284	33.1

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 737百万円 27年3月期 284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
27年3月期	—	0 00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正理由については、「1. (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期3Q	1,846,000株	27年3月期	9,230株
----------	------------	--------	--------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	168,000株	27年3月期	840株
----------	----------	--------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期3Q	1,846,000株	27年3月期3Q	—株
----------	------------	----------	----

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績等は、業況の変化等により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 経営成績・財政状態に関する（1）経営成績に関する分析・次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、実質GDP成長率ベースでは横ばい圏で推移していますが、景気の底割れリスクは確実に後退しております。

政府及び日銀の経済対策や金融緩和策の実施により、企業の設備投資は回復しており、10月の実質輸出は2ヶ月連続で上昇するなど、輸出にも持ち直しの兆しが見られます。それらの背景により、企業収益は改善しつつあります。

一方で、情報セキュリティ業界におきましては、インターネットを悪用した外部からの不正侵入、情報の窃取、改ざんなどだけではなく、企業内部ネットワーク経由における情報の漏洩・窃盗などの被害が増加し、かつ、その被害額が高額化しています。また、政府がマイナンバー制度の導入を決定したことにより個人情報漏洩リスクが高まることなどから、企業規模にかかわらずセキュリティ対策への投資は、拡大傾向となりました。

このような環境のもと、当社では、中小規模企業を主なターゲットとし総合的なセキュリティ対策製品の提供を行いました。

この結果、中小規模企業向けの販売が堅調に推移したため当第3四半期累計期間における売上高は、821,434千円となり、営業利益は、142,713千円、四半期純利益は、79,274千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計の額は、前事業年度末に比べ490,105千円増加し、1,349,677千円となりました。これは主に、現金及び預金が522,723千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が、19,461千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計の額は、前事業年度末に比べ37,352千円増加し、612,321千円となりました。これは主に、未払法人税等が、38,965千円減少した一方で、短期借入金や前受金や長期前受金が、合わせて126,144千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計の額は、前事業年度末に比べ452,752千円増加し、737,355千円となりました。これは、資本金や資本剰余金や利益剰余金が、合わせて454,634千円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が1,882千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年1月12日に開示しました「顧客情報（個人情報含む）に関する恐喝事件への対応について」の事件発生により、1月13日から一部大手販売店にて弊社のアンチマルウェア製品及びPC業務管理製品の新規販売取扱が一時停止となっておりますため、1月の月次売上高が大幅に減少する見込みとなっております。大手販売店にて1月中に当社社内セキュリティ管理体制についての社内調査が行われ、2月12日からアンチマルウェア及びPC業務管理製品の取り扱いが再開されることになりました。現状におきましては、大手代理店経由の受注が回復傾向となっておりますので、今後、売上高は平常時に回復すると見込んでおります。しかしながら、現状2月及び3月の業績予想を行う上で不確定要素が多いため第4四半期の業績予想を行う事が困難な状況であります。そのため、通期業績予想値につきましては、未定とさせていただきます。現在、第4四半期の業績予想を精査中ですので、具体的な1月～3月の業績状況及び通期予想の詳細につきましては改めてご報告させていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	589,548	1,112,272
受取手形及び売掛金	118,421	98,959
原材料及び貯蔵品	19,148	21,565
その他	49,411	38,820
流動資産合計	776,529	1,271,618
固定資産		
有形固定資産	29,384	29,680
無形固定資産	2,139	2,533
投資その他の資産	51,518	45,844
固定資産合計	83,042	78,058
資産合計	859,572	1,349,677
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,931	46,773
短期借入金	-	40,000
未払法人税等	51,700	12,734
前受金	83,708	100,440
役員退職慰労引当金	17,105	-
情報セキュリティ対策引当金	-	9,681
その他	128,966	86,172
流動負債合計	333,412	295,802
固定負債		
役員退職慰労引当金	36,163	43,783
退職給付引当金	13,642	12,858
資産除去債務	7,040	7,109
長期前受金	167,414	236,826
その他	17,296	15,941
固定負債合計	241,556	316,519
負債合計	574,969	612,321

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	267,680
資本剰余金	283	187,963
利益剰余金	215,373	294,648
自己株式	△12,936	△12,936
株主資本合計	282,720	737,355
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,882	-
評価・換算差額等合計	1,882	-
純資産合計	284,602	737,355
負債純資産合計	859,572	1,349,677

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	821,434
売上原価	375,084
売上総利益	446,350
販売費及び一般管理費	303,636
営業利益	142,713
営業外収益	
受取利息	58
雑収入	450
営業外収益合計	508
営業外費用	
支払利息	564
為替差損	366
雑損失	3
営業外費用合計	934
経常利益	142,287
特別損失	
投資有価証券評価損	2,565
情報セキュリティ対策引当金繰入額	9,681
特別損失合計	12,246
税引前四半期純利益	130,040
法人税、住民税及び事業税	41,340
法人税等調整額	9,424
法人税等合計	50,765
四半期純利益	79,274

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年12月18日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場し、公募増資による払込みを受け、新株式300,000株の発行を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ187,680千円増加しております。この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が267,680千円、資本剰余金187,963千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、情報セキュリティソリューション事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。